食品安全関係情報(11月30日~12月13日 収集分※)について

「食品安全関係情報」として食品安全委員会が収集したハザード毎の地域別情報件数の概要

(集計数は、今回/前回)

			■国際機関		区欠州		大洋州	アジア		中南米等との他		
11月30日~12月13日 収	集件数 (合計84/96	件) V		米国	カナダ	EU、EFSA	各国	FSANZ等	中国	<u>/</u> 各国	各国	報道、論文等も含む
(前回 11月16日~11月29日)		,	(1/4件)	(6/7件)	(1/2件)	(23/25件)	(16/11件)	(8/2件)	(9/12件)	(3/6件)	(0/0件)	(17/27件)
		件)	0	1	1	2	3	0	0	C	0	2
		(11)	0	0	0	7	2	2	0 0		0	0
	農薬	(7)	0	4	0	1 0		0	1 1		C	0
	動物用医薬品	(3)	0	0	0	1	C	0	1	1	C	0
	器具·容器包装	(1)	0	0	0	0	C	0	0	C	0	1
(35/40件)		(4)	0	1	0	0	C	0	1	1	C	1
微生物・プリオン・自然毒(28/32件)	細菌(/件)	0	0	0	2	1	0	0	C	0	4
	ウイルス	(5)	0	0	0	0	С	0	2	C	0	3
	原虫·寄生虫	(0)	0	0	0	0	С	0	0	C	0	0
	プリオン	(6)	0	0	0	1	5	0	0	C	0	0
	植物性自然毒	(1)	0	0	0	0	C	1	0	C	0	0
	カビ毒(マイコトキシン)	(3)	1	0	0	0	1	0	0	C	0	1
	動物性自然毒	(1)	0	0	0	1	С	0	0	C	0	0
		(5)	0	0	0	2	2	2 0	0	C	0	1
新食品等 (5/12件)		件)	0	0	0	1	C	0	0	C	0	0
	GMO	(3)	0	0	0	0	C	1	0	C	0	2
	健康食品	(1)	0	0	0	0	_	0	1	C	0	0
	アレルギー	(0)	0	0	0	0	С	0	0	C	0	0
	クローン	(0)	0	0		0	_	0	0	C	0	0
	放射線照射	(0)	0	0	0	0	C	0	0	C	0	0
	ナノテクノロジー	(0)	0	0	0	0	_	0	0	C	0	0
		(0)	0	0	0	0	_	0	0	C	0	0
肥料·飼料等 (2/0件)		(件)	0	0	0	0		0	0	C	0	0
	飼料	(2)	0	0	0	2		0	0	C	0	0
		(0)	0	0	0	0	C	0	0	C	0	0
その他 (13/1 2 件)		(件)	0	0	0	0		0	0	C	0	0
	放射性物質	(0)	0	0		0		0	0	C	0	0
		(13)	0	0	0	3		4	3	C	0	1
海外の食中毒		件)	0	0	0	0		0	0	C	0	1
	ウイルス	(0)	0	0	0	0	_	0	0	C	0	0
	その他	(0)	0	0	_	0	_	0	0	C	0	0
		(件)	0	0	0	0	_	0	0	C	0	0
	微生物	(0)	0	0	0	0		0	0	C	0	0
	異物混入等	(0)	0	0		0	_	0	0	C	0	0
	表示違反	(0)	0	0	0	0	C	0	0	C	0	0
	その他	(0)	0	0	0	0	C	0	0	C	0	0

※収集期間については、主たる期間をいう。

食品安全関係情報(11月30日~12月13日収集分84件)のうち、主なものの紹介

(詳細及び他の情報については、食品安全総合情報システム(http://www.fsc.go.jp/fsciis/)をご覧下さい)

【化学物質】

- ・米国環境保護庁(EPA)、妊娠可能年齢の女性における血中の水銀濃度が34%低下したこと及び魚類の選択に関してより多くの情報が提供されていることが示唆された旨を公表
- ・ドイツ連邦リスク評価研究所(BfR)、コーヒーメーカー及びエスプレッソマシンンからの鉛の溶出に関する意見書を公表
- ・フランス競争・消費・不正抑止総局(DGCCRF)、食品のアクリルアミドに関する調査報告書を発表
- ・欧州食品安全機関(EFSA)、食品中の残留農薬の累積リスク評価における異なる作用機序の関連性 及びその適切な適用法に関する科学的意見書を公表
- ・欧州食品安全機関(EFSA)、アスパルテームに関する全面リスク評価を完了しアスパルテームは現在の暴露量で安全である、と結論づけたことを報道発表
- ・米国食品医薬品庁(FDA)、エストロゲン活性データベース(EADB)の構築を公表

【微生物・プリオン・自然毒】

- ・欧州食品安全機関 (EFSA) 及び欧州疾病予防管理センター (ECDC)、Salmone/la Mikawasima 感染者の異常な増加に関する科学報告書を公表
- Eurosurveillance:「2013 年 6~10 月にイングランドで発生したウェルク摂取に関連する Salmonella Goldcoast 集団感染症!
- ・英国動物衛生獣医学研究所(AHVLA)、11月30日時点での英国におけるBSEサーベイランス結果を公表(2013年:3頭目)
- ・アイルランド農業・食料・海洋省 (DAFM)、輸出業者に向けた対日輸出用牛肉及び牛臓器に関する注意事項を公表
- ・スペイン農業食料環境省(MAGRAMA)、スペインにおける伝達性海綿状脳症(TSE)に関する疫学報告書を公表(2011年、2012年)
- ・国際連合食糧農業機関 (FAO)、カビ毒のサンプリングツール (Version 1.0) が開発された旨を公表

【その他】

・ドイツ連邦リスク評価研究所 (BfR)、「欧州連合(EU)食品安全年鑑」の第3版を発行